

第2回議員定数調査特別委員会 要点記録

○開会及び閉会

令和8年7月23日 14時55分～16時18分

○出席議員の氏名

難波 修二	向山 博	佐々木雄三	北山 正一	金安 英照
赤石 勝子	柳谷 要	熊谷 雅幸		

○欠席議員の氏名

淀谷 融 永井 浩

○出席した事務局職員

事務局長	津村 智之	庶務係長	及川 拓真
------	-------	------	-------

○協議事項

- ①調査の進め方について
- ②検討する事項

○その他

- ①第3回特別委員会
-

○難波委員長

- ・開会挨拶
- ・協議事項（1）調査の進め方について事務局から説明願う。

○津村局長

- ・調査の進め方について前回の決定事項について説明

○難波委員長

- ・調査の進め方についての決定事項を確認
（全員了承）
- ・（2）検討する事項①過去の選挙結果からの課題等の検証について意見を伺う。
- ・資料①は昭和22年からの議員定数の変遷、資料②は昭和46年からの選挙の詳細を記録として残したもの。資料①を見ると平成19年に現行の定数10、それ以前は平成11年、15年、19年と毎回見直しを行っている。
- ・平成19年の改正から20年が経過し大きく社会情勢や町内の状況が変わってる。

- ・資料②を見ると平成7年と23年には、無投票の選挙がある。
- ・候補者を出せないような地域が増加してきていることやご自身の職業との両立が難しく断念するということがあるように承知をしてる。
- ・近年は小規模得票数しか得られないような方の立候補が多いという現象が見られる。前は2名の方が供託金没収になるという状況
- ・無投票の解消に努めることは大事な事。手を挙げれば誰でも議員になれるという状況は避けた方が良くとの声もある。

○熊谷議長

- ・定数10に削減した当時は、当面の間は人口5000人を大きく割り込まないだろうとの予測で10となった。現在はそれ以上に少子高齢化が進んでいる。
- ・地域によって出せないところが出てきてる状況だと思う。

○柳谷委員

- ・1人当たりの議員が何人の町民を抱えることになるのかということが定数を決める時に一つの基準になってくると思う。
- ・高齢化により議会を欠席することも多くなる。不慮のことに備えて定数減を考えるうえで加味した発想が必要と思う。
- ・町の財政が大変だから議会予算も削減の方向で定数を減らすべきという議論も一つの理由になると思うが、総額で1%位であり問題になる金額ではないと思う。

○難波委員長

- ・議員が長期療養により欠席する頻度が高まることを加味した議員定数の議論というのは違う気がする。
- ・次に②議会や議員、定数、選挙に対する地域の声ということで何か発言があればお聞きしたい。

○熊谷議長

- ・志のない人は議員とならないでという声が一番多い。ただ、役場を批判するような人は議員にしていだかないようにとの声が非常に多い。

○難波委員長

- ・先ほど控え室でも話をしたらそういう声はかなり強いということだった。

○北山委員

- ・非常に冷めた意見が多く、減らせれば良いという短絡的な言葉や自分事として考えられてないというのが多いと感じた。

○難波委員長

- ・次に③議員の担い手、議員の擁立など地域の状況で何かあれば、お聞きする。

○佐々木委員

- ・議員の担い手、候補者擁立などの地域の状況という項目だが、僕より上の世代の人たちは地域から1人議員さんを出し地域のために貢献してという考えが多いと思う。僕より下の世代は、地域の代表ではなく自分の考えを持った人に投票したいという人が人口割合では全然少ないが、若い世代では増えてきてるのが肌感覚ではある。

○難波委員長

- ・その通りだと思う。議員必携をみても我々は地域の代表ではないと書いてある。

○佐々木委員

- ・とはいえ地域の声を聞くのが、否めない部分もあるが、そういった現状もあるということ言わせてもらった。

○難波委員長

- ・長い間の地域の繋がりを大事にしてきたというか議会議員もそうだし農業委員もその地域がまとまり、それを大事にしてきた。出してもらった議員を通じていろんなことをやり取りしてきた。それは全く悪いことではないと思う。

○向山委員

- ・農業委員会は地域ある。議員にはそれがない。それと気になるのは農業委員会は30代から70代までいろんな方が出られる。議会の場合は高齢の方が結構多いので少し気になる。

○難波委員長

- ・ある人に言われたが、議員の定数削減ということも良いが出たい人たちを受け入れるような環境整備が先ではないか、子育て中の若いお母さんも出られるような環境を作ってはという人がいた。その通りだが環境整備をして手を挙げて出てくれる人が果たしているのか、どこまでの条件を整えれば良いのか、ものすごく難しいことだと思う。

○佐々木委員

- ・僕自身も女性議員を増やしたいと思って友人とかと話しているが、子育て中だからそんな簡単に出れないという声がある。議会議員に対してハードルの高さを感じてるのが女性としてあると思う。

○柳谷委員

- ・定数をいじる前に議会が執行者に対するチェック機能が十分果たされているのか自己評価をして定数の問題を議論することが先だと思う。

○難波委員長

- ・これまでの 20 年間、議会として取り組んできた行政改革の中身を踏まえ、議会としての取り組みを充実させることは、当然目指していかなければならない。
- ・要望を受けたら直接議員が役場におもむくなり議会の活動を通して発言していくということは非常にやっていけないといけない。
- ・議会の動きや町の動きということも町民の皆さんにお知らせすることも我々の大きな仕事の一つだということを踏まえてやっていく必要がある。

○熊谷議長

- ・町民の意見交換会と新しい試みで年に 1 度次年度へ向けて両常任委員長と町長に提言書を出してる。一般質問プラスアルファの中の一つの議員活動として良い取り組みだと思う。

○難波委員長

- ・次に④過疎化の進行、人口減少と移住者の増加への対応ということで何かあれば伺いたい。
- ・資料を見ると人口減ということで一目瞭然。平成 19 年は 5,747 人だったが令和 8 年では 4,335 人となっている。
- ・最近一番気になるのは、どんどん町外に転出する人が増えてる。家をたたんで子供の近くに行くとか施設に入るため町を離れる人が増えてる。
- ・その半面、住居を求めて転入してくる方が増えてきてるが、そういう方は、あまり地域のことに関心ないと感じる。

○北山委員

- ・放っておいてという感覚。

○熊谷議長

- ・町内会にも誘わないでくれという方もいる。

○難波委員長

- ・単に人口減だけではなく、中身の変化というのがものすごく強く感じる。
- ・それが町政に対する関心の薄さに現れてきてるのかなと思う。
- ・人口の推移と中身の変化ということを十分踏まえて考えていきたいと思う。
- ・次に⑤将来の自治体運営、議会の在り方について何かあればお聞きしたい。

- ・ 蘭越も小規模化してきている。小規模自治体の自治体運営として役場の機能をどのようにしていけば良いのか、一番の自治体運営の中心課題になると思う。
- ・ 国の政策の変化とか住民要望の多様化とか様々な中で、小規模自治体は益々役場に対する依存、職員の果たすべき役割が重要になってくると常々思う。
- ・ 議会改革をやっていくにも、それにも増して自治体運営をしっかりしてもらうことが一番になると考える。
- ・ これまでの政策を見返していかなければという問題が一杯出てきてるが、担当する技術職員や専門職員が足りないという課題もある。
- ・ そのような中で議会はどうかあるべきか、そのことが求められる。
- ・ 役場へのチェック機能は大事だが、対峙していく姿勢だけでは駄目だと思う。
- ・ 町と議会が対峙することは、町民は望まないと感じる。自分たちの要求を実現できる町であり議会であるかということが大きな課題になると感じている。

○柳谷委員

- ・ 定数の問題は混沌とした時代に、きちっとした議会を作るという議論ができれば良いと思う。
- ・ 減らすのは、必ずしも反対ではない。だけど、どうして減らすのか説得力を熟達することが大事だと思う。

○難波委員長

- ・ 次に⑥近隣町村の状況と動向の確認ということで資料を見ると定数削減に踏み切ったのが4町村ある。検討中というところも4町村ある。
- ・ 資料を参考にしながら、我々独自の考え方で行きたいと思う。
- ・ これまでの意見交換を踏まえ本論に入りたい。今日は2人欠席のため次回に議論していきたい。
- ・ その他で何かあれば何う。

○佐々木委員

- ・ 議員定数を考える上で議員報酬という観点も必要と思う。

○難波委員長

- ・ 議員報酬については、それぞれの考えがあると思うが、次の機会までに資料を用意し進める。

○佐々木委員

- ・ これまで議員定数を削減してきた中で、町民意見とかパブリックコメントはやらなかったものか。

○熊谷議長

- ・ 当時は町のホームページもなくパブリックコメントという言葉も出てこなかった。
- ・ 自分が町民の代表だというような時代だった。

○難波委員長

- ・ 過去の状況から一步一步、民主的に改良してきている。
- ・ 議会運営の中身も常に見直しをしていくことが大事であると思う。
- ・ 定数の問題どうなるかわからないが、仮に削減となれば委員会等の見直しも必要と感じる。これまで以上に人数が少なくなることによって 1 人 1 人の議員の仕事量が増えてくるだろうと感じる。
- ・ 今後は相対的な日程調整や意見調整も含めた会議を定期的に持てたら良いと思う。そのようなことも含め検討を進められたら良いと思う。

○柳谷委員

- ・ 議会が混乱してる町村というのは、その町の行政が停滞してるように感じる。
- ・ 昔読んだ本で議会の定数が 10 人を切ると仲良しクラブになる等、数学的な法則みたいなものがあると。だから 10 人を割るとというのはよほど慎重でなければ駄目だというのは読んだことある。

○熊谷議長

- ・ それは人口減がまだ始まる前の話だと思う。

○金安委員

- ・ 今回の定数の話を周りに聞いたが、意識が全然違うと感じた。町が一生懸命見やすいものを作って全戸配布しても 1 回も見ることがないと言ってる方もいる。

○難波委員長

- ・ 議会が立ち返って自分たちがやれることをしっかりやらなければ駄目だなと思う。
- ・ しっかりした人でも議会に対する期待は薄いということもある。
- ・ 今日はこれで閉じて、次回は本論に入って定数をどうするかということを皆さんにお聞きする。
- ・ 次回の日程を調整したい。8 月 10 日の臨時会終了後 13 時予定ということで、よろしいか。
(全員了承)

閉 会